

NO. 844
 発行
 2015年
 4月10日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

職場の労働条件改善を

運輸協定期委員会

第24回国労新潟・運輸協定期委員会が3月28日13時から地本事務所で開催されました。

出席された委員から職場の問題点や出向先の状況などが報告されました。

国労東日本本部から武笠執行委員、長谷川運輸協議長が出席しました。長沢副議長の開会あいさつではじまり、座長選出では東新潟機関区分会の長部委員が選出されました。

本多議長のあいさつ、地本から上石委員長、東日本から、長谷川運輸協議長、武笠執行委員からそ



れぞれあいさつがありました。



本多議長あいさつ

「検修外注化が3年目になり出向が終了になる時期だ。現場では考

地本 上石委員長 あいさつ

えられないような事故が多発している。出向先の労働条件や偽装請負など発生し改善されていない。乗務員の睡眠時間の問題など山積みになっている。これからの運輸協の運動の進め方など、委員会で発言して欲しい」

「JR各社の回答が、出されているがJR東日本からの回答が無い。各分会からも現場長に申し入れるよ

国労東日本本部 長谷川運輸協議長 あいさつ

3月のダイヤ改正で並行在来線が第三セクターになった。経営が苦しい状況なので利用者、自治体への負担が大きくなっていく。

検修外注化～グループ体制の一体化・各地方検修・出向に出ると戻りたくないという意見が出されている。交検・臨修グループがある職場はJRとして残っているが、それ以外の職場は構内・入換業務しかない。業務を戻す闘いを進めていく。

プロパーへの教育・養成がはじまる。①教育の不十分さがある②数ヶ月JRへ出向して戻っている③実車への研修は難しい④判断能力が無い。厳しい状況だ。

運輸協交流会～組織拡大・何かのきっかけを生かしていくこと。プロパーへの呼びかけ接触していくこと。青年の思いを共有していくことで、そこから拡大へつなげていく。

乗務員～職場では厳しい状況が続く。勤務制度について問題がある。実態～予備が無い待機予備になっている。常に待機、乗務員は無給の時間がある。タブレットを渡されて客の案内をしている。無給の状態でやっている。サービスになっている。職場の実態を把握する。安全で働ける職場をつくっていく。



う指示を出した。貨物は16年ペアゼロの回答となった。55歳以上は1500円の加算となった。格差は一段と広がっていき状況だ。安倍内閣は暴走している。沖縄基地団の自衛権など反対していこう。この選挙に勝って参院選につなげていく。選挙はそれぞれの立場で奮闘していこう。組織拡大は、国労らしい運動を展開して取り組んでいこう」



みんなの意見

○出向になってから、今までは人間ドックに3年に1回無料で受診できたが、現在は受診できなくなつた。仕業検査が日勤勤務になる。夜間の対応はどうなるのか。

●委託会社へ出向している。以前は、訓練の時の弁当代は無料だったが、NTSへ出向しているのが弁当代が徴収された。書面では弁当支給となっているがNTSへ出向しているのが弁当代を徴収される。今後は訓練のときは外食にする。JR東日本へ出向のときは無料だった。

○NTS・就業規則の変更、勤務時間が変わった。勤務時間が長いので手当が支給されている。それで勤務時間が変更になった。

●新津車両製作所が全面外注化になった。他の会社と統合になったのか。冬季は消雪だったが12月は大雪になった。新幹線E4系が雪対策で工事したが、2週続けて地絡した。

○3月ダイヤ改から車両の運用が変わった。新車を新潟車両センターに留置して首都圏へ回送している。なぜ車両センターで作業になったのか。





○偽装請負の朝のミーティングは委託会社とJRは同じフロアでやっている。同じフロアで点呼しているから直接、JRから指示を受けている。JRからNTSへ直接指示され作業している。

●ダイ改後の問題で129系は導入後、問題が発生している。新車のモニター対応は、なかなかついていない。

○昨年、送別会を開催した。年齢構成は60歳以上が2人くらいで、あとは平成採用だ。60歳を過ぎても若い人と同じ行路を乗務している。60キロ乗務。60歳を過ぎて乗務できるか不安だ。線路は第三セクターもあり複雑で乗務できるかどうか。関西支社との団交記録で60歳以上の乗務距離は100キロ以上を越えないこと。ダブル行路は乗せない。交直セクションは越えない乗務。貨物でも交渉記録として残せないか。



KN山の会たより

白山山行

とき 3月28日(土)
現地 9時30分集合

国 新 山 の 会
発 行 所
新潟市秋葉区善道町1-1-1
〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
FAX 0250-24-8337
2015年4月5日 No. 107号
発行責任者 大湊 茂
編集者 野村 正三

白山山行

1012.4m

とき 3月28日(土)
現地 9時30分集合



白山山頂からバックに粟ヶ岳 1293 m

3月11日から天候荒れ模様で翌日は新潟市内でも雪、秋葉区では20~30cm降り、重たい雪解けが速い、確実に春が駆け走でやってくる。11日と言えば、4年前も寒かったろうに…

東日本大震災から4年を迎えました。改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今なお困難な中で過ごされている皆様を思いをはせます。福島原発事故は収束どころか、汚染水の漏出事故や労働者の死傷事故が相次いでいます。

安倍政権は再稼働をすすめています。先日、メルケル独首相の訪日が話題に…あの福島原発事故の直後にドイツは方針の大転換を表明。「高度な科学技術を持つ日本で福島のような事故が起きたのを目のあたりにし、予想できないリスクが生じることを認識した」とメルケル首相。安全性が揺らいだことで原発容認の立場から脱原発へ鮮やかな「政治的決断」した…。

14日に白山へ行く予定でしたが、雪がかなり降り山は結構積もったようです。中止…変更して28日(土)天候は曇り晴れだあ！だいぶ温かく感じる今日この頃です。東京・上野

公園では桜が5分咲きとか？新潟はまだ梅も桜もかたい蕾状態ですが確実に春が近づいている。

慈光寺の黄金の里まえ駐車場は、車がイッパイ20~30台は留め置き出来る。今回は3人で駐車場から15分位で1合目尾根線登山口となり、いきなりの急登で、この急登を後ろから年配の女性が、猿足の如く追っかけてくるような感じでスイスイと登り「お先にどうぞ」と声をかけた。そのお婆さん、「わたしねえ足が速いのでセーブが効かないのであなた達の後ろからついて行く」。3合目までついてきました。毎日のように天候しだいで何処かの山に行っている。昨日も、大蔵山から菅名岳

2合目付近でイワウチワ



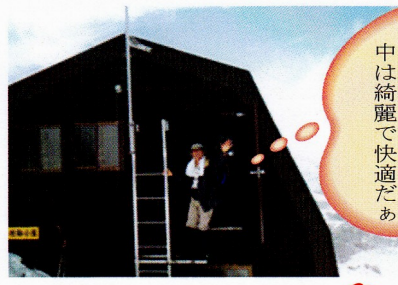
を登って来たと言っていました。

3合目から雪道です。8合目で休憩しここからもう一息で山頂へ約2時間位で山頂に着き、山頂では、2組のパーティーが外で休憩していたが、私たちは寒いので、避難小屋で休憩。帰りは来た道を往復しました。

行程タイム

慈光寺黄金の里	9 : 25
1合目	9 : 40
3合目	10 : 10
5合目	10 : 31
山頂	11 : 21
休憩	
下山	12 : 26
1合目	13 : 15
慈光寺黄金の里	13 : 30

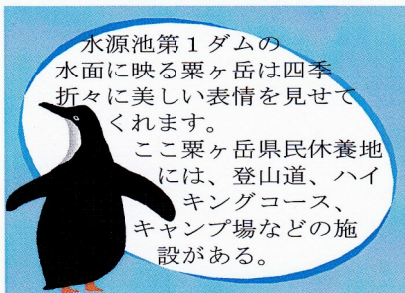
参加者=大湊・坂井・野村



白山・避難小屋2階からの出入り大変だけど中は綺麗で快適だよ

粟ヶ岳 1293m の案内

とき 4月22日 午前8時
現地集合: 粟ヶ岳県民休養地



水源池第1ダムの水面に映る粟ヶ岳は四季折々に美しい表情を見せてくれます。ここ粟ヶ岳県民休養地には、登山道、ハイキングコース、キャンプ場などの施設がある。

二王子岳 1420.1m の案内

とき 4月30日 午前8時
集合所 国労事務所まえ
現地集合 9時10分

二王子は毎年この時期に計画を立て行っています。去年は、坂井さんは小屋で一泊でした。参加者待っています。早めに。

巻機山計画

5月13日(水)、14日(木)
巻機山 2日 やまご
詳細は後程ご案内します

